

復命書

2010年3月1日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2010年2月27日(土) 13:30から16:30	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	(財)松下政経塾30周年記念 自治体経営改革プロジェクト シンポジウム
	(2) 対 応 者	原口一博 総務大臣・松沢成文 神奈川県知事 松井嘉浩 宮城県知事・北川正恭 早稲田大学大 学院教授・清水勇人 さいたま市長・海老根靖典 藤沢市長・鈴木康友 浜松市長
3 目 的	<p>「地域から日本を変える、日本が変わる」 松下政経塾卒塾生30年の実践とこれからの課題</p> <p>の案内を頂き、名に聞いた政経塾の姿を知りたい、何がこんなに たくさんの政治家を生みだしているのか。松下政経塾の原点を知 りたい、触れたいの目的で参加した。</p>	
4 内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>基調講演 「地域主権で日本を変える」 原口一博 総務大臣</p> <p>松下幸之助翁の言葉をまず紹介した。「何歳になろうとも学ぶ」 というエピソード。皆が自分のことをほめる・讃えるが、自分は、 学校に行っていない、90歳で中学校に行きたいと言い続けていた という。そして、総務大臣としての話に。国の形そのものを変 えることで、地域主権を実現したい。国に集中させて分配してい く方法はダム式国家経営だ。これからは、責任の主体を明確化し ていく。民主主義の地域主権改革・自らの出来ることをやる。地 域を自ら育む。民主主義の原点は、責任は国民が取るものだ。入 塾時は日本の最高のもを学んだ。自らの文化、茶道、掃除の仕 方など。出来ないことが問題ではなく出来ることが大事なこと。</p>	

人を活かす政治。人間は万物の王者、自らの知恵を活かす。これからのたとえば、医療現場で、ベットがどれだけ必要かなど、学べば強い！国家100年の計。地域主権改革へ繋げていきたい。地域力を高める3本柱。緑の分権改革・定住自立圏構想・過疎地域などの条件不利地域の自立、活性化の支援の説明。またICT維新ビジョン・地域主権戦略と原口ビジョンが語られた。フューマンバリューへの投資は興味を持てる内容だ。光の道も日本の未来の姿が見える話だ。

鼎談 「知事から見た地方分権」

松沢成文 神奈川県知事

村井嘉浩 宮城県知事

13期の村井知事。草創期の松沢知事。改革の1丁目1番地は地域主権。一票の革命によって出来た政府。地域主権・権限と責任、責任を覚悟する必要がある。神奈川県力と言っている先進力・他でやらない事をやる、日本で新しいことをやる。皆で協力して、情報公開や環境アセスメントなど、それから国が動いた。神奈川県らしい民主主義の基本のシステムをつくる。民主主義は分権の政治・制度確立が必要。国全体を機能的にする。時間的分権は、一人に権限を集中させないとの考えで、多選禁止をすべきだ。アメリカは2期8年だ。3期12年の条例の制定へ。他11本の条例を成立させた神奈川県。議会は、議論する場のはず。しっかりと、地方自治基本法の提案をしている。受動喫煙防止条例も検討中だ。権限に財源を伴った地方政府確立と断言。

政治と経済どちらが先かと宮城県知事。繁栄を通じてこそ平和な社会がある。政治は経済をやりやすくするためにある。地域主権は具体的にどう示していけるか。地方の決意が必要だ。製造業の推進。もっと規制緩和が必要だ。国のフルモデルチェンジ、道州制を考えるべきだ。高齢者が急増加する30年後。東北6県がオーストラリアと同じ経済圏域だ。霞が関の改革と道州制。国は、16項目だけやればいい。地方から形を変えていく。テーマに依る広域連合もある。この国の改革は地域からやる、地域主権国家をつくろうと北川教授。

パネルディスカッション

「自治体を経営する」

清水隼人 さいたま市長・海老根靖典 藤沢市長・鈴木康友 浜松市長・荒田英和 PHP 総研政治経済研究所センター長

	<p>さいたま市政改革へ取り組みと熱心に取り組んでいる課題を語る清水市長。基礎自治体がいかに独立していけるかだと海老根市長、マニフェスト大賞をもらった。マニフェストを掲げて立候補、6000人の職員と担当部長にそれぞれ、実行計画を立てさせ、戦略計画に盛り込んだ。部長宣言・部長マニフェストをたてさせたと鈴木市長。100を超える限界集落がある。様々課題はあるが、8割ぐらいは実行している。税金は現状に使うより将来に使うべきと変わってきた住民。長期構想も必要。計画と行程の検証、サイクルのチェック。住民に変わるものの印象付けと改革の基盤づくり。総合計画を共に考えて作ることなど、協働の必要性が語られた。</p>
<p>5 成果・市政への反映等</p>	<p>噂に聞いた松下政経塾の空気？が吸えてまず良かった。30年間で政界に送り込んだ人材の多さに圧倒された。残念ながら静岡県内は数人しかいない。静岡市は関わり0。経済活性化は政治の責任。政治と経済、豊かな生活を享受するためには、生き生きと働けることと、安心して将来が語れる社会だと再確認した。そのためには、働く場の提供、ここで住み続けたいと思う人を増加させること。潜在化している資源の再確認・徹底したSWOTの実行による政策実行がより大事だと実感した。また、静岡市の顔・トップリーダーのセールス力強化ももっとも必要なのではないかと思わされた。この様な地域リーダーの集まるセミナー等に積極的に参加されることが大事なのではないかと思う。</p>